

故高橋さん(元副知事)の碑石垣に
沖縄で典 かけはし交流に尽力



関係者によって除幕された高橋洋介さんらの顕彰碑＝26日、沖縄県石垣市・真栄里公園（琉球新報社提供）

本県が1993年の大冷害で種もみ不足に陥った際、沖縄県の石垣島から種もみを調達した「水稲種もみ緊急増殖事業」に本県農政部長として関わり、その後、沖縄、石垣との交流に尽力した元副知事の故高橋洋介さんの功績をたたえる顕彰碑は26日、沖縄県石垣市の真栄里公園に建立された。当時、栽培指導に当たって同事業を成功に導いた故菅原邦典

さんの顕彰碑も同じ場所に移設した。

顕彰碑建立、移設式典には本県と石垣の関係者約300人が出席。双方の交流を継続、発展させ、高橋さん、菅原さんの功績を後世に語り継ぐことを誓った。

「水稲種もみ緊急増殖事業」は種もみ不足となった本県オリジナル水稲品種「ゆめさんさ」と「かけはし」の2品種を、二期作がで

る石垣島で増殖した事業。他県に増殖を依頼する前例のない事業だったが、石垣島の農家の協力で成功した。

沖縄かけはし交流会を設立し、民間での交流をけん引。石垣島マラソンと北上マラソンの相互派遣、盛岡四高と沖縄県立八重山高の姉妹校締結など、多くの交流を生んだ。

高橋さんの妻、ひろ江さんは「交流20年の節目に顕彰碑が建立され、とても感慨深い。交流が世代を超えて末永く続くことを願わずにはいられない」と語った。

中山義隆石垣市長は「種もみが石垣と岩手の心をつないだ。今後とも末永く交流できることを願っている」とあいさつした。

高橋さんは、岩手・